

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

夢・感動通信

～タブレット端末で多様な学びを！～

No.11



町では、平成28年度に教育現場へタブレット端末を導入し、新しい学習活動を展開してきました。

ある算数の授業では、子どもたちの机にはタブレット端末、教室の前には電子黒板。タブレット端末と電子黒板は連携して、子どもたちの計算方法が電子黒板に映し出されます。一人ひとりの解法をみんなで見ることができるので、自分とは異なる答えから新たな気づきを得たり、様々な解き方を知ることができ、他と協働する学びができるようになりました。

また、ある総合的な学習の時間では、校外での調べ学習でグループに1台タブレット端末。タブレット端末でインタビューを録音したり、写真を撮ったり、帰りのバスの中では写真を見て、まとめ方の相談が始まり、教室に戻ってからタブレット端末を使って発表の準備。後日の発表会では、タブレット端末でスライドを操作しながらステージ発表を行います。

これまでノートに解いた計算を黒板に書き写したり、写真を現像して模造紙に張り付いたりしていた作業がなくなり、よりスピーディに、また簡単に学習活動を展開することができるようになりました。いまやタブレット端末は学習環境に欠かせない存在となっています。

▼問合せ 学校教育課 学校教育係
☎(72)6922



タブレット端末での学習

家庭学習でのタブレット活用例もあります。インターネットを通して配信される学習問題、子どもたちが問題を解くと、すぐに採点され、間違い直しに取り掛かれます。さらに、繰り返し学習することで間違いやすい問題の情報が集積され、苦手な問題を中心に配信されるようになります。タブレット端末を使用した家庭学習が、苦手分野の克服につながります。

町では、令和3年までに町立の全小中学校に1人1台タブレット端末を配布する予定です。子どもたちは自分専用のタブレット端末を使用して、学校や家庭、地域でも多様な学習活動に取り組みめるようになります。タブレット端末を使った学習が、子どもたちの主体性を引き出し、自立学習を促進させることが期待されています。

全部食べたい！



焼き菓子もあります



名前のとおり、お店は緑に囲まれています

那須のいろんなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

ほっとひと息

11



森のケーキ屋 キエ・モカ

幸せになるケーキ



オーナーの大藤匡子さん

森のケーキ屋 キエ・モカ

10:00～18:00 時間外も電話対応可
☎0287-76-2686
不定休（お電話ください）



森の中にあるケーキ屋さん。27年前横浜市から那須に移住するのを機に大好きなケーキやコーヒーを探究し自身で作って出したかったと話す、オーナーの大藤匡子さん。

洋菓子協会やホテルでの講習会、本などを参考にし、味の改良を重ねたそうです。

コーヒー豆は、注文の電話があれば、客さまの好みに合わせて豆を選び、来店する時間に煎りたての豆を用意してくれます。

カットケーキは定番ケーキや旬の果物を使ったケーキをおりませています。

「ケーキは人を幸せにしてくれる不思議な食べ物。記念日や旅行者の思い出として残るのがやがいがい。そのため、手を抜かず良質な材料を使い丁寧にケーキを作っています」

ケーキもコーヒーも、一人ひとりに合わせてくれる大藤さんの心づかいつとき、幸せな時間が訪れます。